



平成26年3月25日  
四国地方整備局

## 四国地方整備局入札監視委員会第一部会の 審議概要について

四国地方整備局入札監視委員会第一部会は、平成25年度第4回定例会議を下記のとおり開催しました。

審議内容は、四国地方整備局（港湾空港関係は除く）が平成25年10月から平成25年12月までに発注した工事、建設コンサルタント業務等及び役務・物品の中から委員が無作為に抽出した6件の入札・契約手続に関する事項について審議を行いました。

その審議概要は別添のとおりです。

### 記

開催日 平成26年3月10日(月)  
会場 高松サンポート合同庁舎 13階会議室

### 問い合わせ先

高松市サンポート3番33号 電話 087-851-8061(代表)

四国地方整備局入札監視委員会事務局

主任監査官 三枝 茂 樹 (内線2114)

契約管理官 今 城 敏 雅 (内線2222)

技術開発調整官 近 藤 秀 樹 (内線3120)

別添

四国地方整備局 入札監視委員会第一部会第4回定例会議 審議概要

開催日及び場所	平成26年3月10日(月) 高松サンポート合同庁舎 13階会議室					
委員 (部会委員5名)	部会長	近藤 光男(徳島大学大学院教授)				敬称略
	委員	大西 均(公認会計士)				委員は50音別
	委員	柴田 潤子(香川大学大学院教授)				
	委員	島 弘(高知工科大学大学院教授)				
	委員	白井 一郎(弁護士)				
審議対象期間	平成25年10月1日～平成25年12月31日契約分					
審議案件	総件数 6件(工事3件、建設コンサルタント業務等2件、役務及び物品1件)					
	入札方式	件名	契約の相手方	契約金額(千円)	入札者数	落札率(%)
工事	一般競争 (政府調達協定適用対象工事以外)	平成25—26年度 芳原川橋床版外工事	(株)藤堂組	117,720	4	97.21
	一般競争 (政府調達協定適用対象工事以外)	平成25年度 徳島県警機動隊給油施設新設工事	河野建設(株)	31,500	2	99.08
	公募型競争 (政府調達協定)	平成25—26年度 朝倉トンネル工事	飛鳥建設(株)	1,169,424	11	89.74
建設コンサルタント業務等	簡易公募型競争	平成25年度 徳島地区(192号)附属物点検業務	(株)四電技術コンサルタント	122,850	2	99.21
	簡易公募型プロポーザル	平成25年度 怒田・八畝地区抑止工外測量設計業務	復建調査設計(株)	28,350	1	93.43
役務及び物品	一般競争	平成25—29年度 サーバ賃貸借	IBJL東芝リース(株)	26,059	4	35.64
報告事項	①再度入札における一位不動状況・低入札の発生状況 ②談合情報対応マニュアル等の改正について ③事務所ごとの平均落札率等(一般土木工事C等級)について					
委員からの意見質問、それに対する回答等			別紙のとおり			
委員会による意見の具申又は勧告の内容			特になし			
備考						

(注)プロポーザル方式においては、「入札者数」は「技術提案書の提出者数」である。

1. 抽出案件の審議概要

(1) 一般競争入札(政府調達協定対象工事以外)	
意見・質問	回答
<p><b>平成25—26年度 芳原川橋床版外工事</b></p> <p>競争参加資格の要件を満たす業者は何社あったのか。</p> <p>今回の工事には4社が入札したが、その内の3社が予定価格をオーバーしているが、積算は難しいのか。</p> <p>入札結果一覧表の直接工事費及び共通仮設費については、資材価格高騰等の影響もあって予定価格を上回っており、企業の利益部分である一般管理費を下げて応札しているのが現状と推測されるが、この状況が継続すると企業が疲弊する。定期的に資材価格等の見直しはするのか。</p> <p><b>平成25年度 徳島県警機動隊給油施設新設工事</b></p> <p>入札辞退の理由は把握しているか。</p> <p>入札しようとしたら、技術者がいなかったということも考えられるのか。</p> <p>徳島県内に本店を有する建築工事の、C等級とD等級の業者数と参加資格のある業者数を教えてください。</p> <p>判定評価結果表の加算点の点数が低いが、点数が低いからといってダメということはないのか。</p>	<p>今回の要件を満たすのは15社である。</p> <p>各社の内訳書を確認したところ、1社についてはあきらかな積算ミスがあり、それ以外の業者については、予定価格の上下3%以内に入っており、積算そのものが難しいとは考えていない。</p> <p>最近の資材・労務費等の上昇傾向を踏まえ、市場の状況に応じた見直しを実施している。</p> <p>特に把握していない。</p> <p>入札に至る途中で他の工事を落札した場合に、申請した技術者をその落札した工事に配置するために辞退することは考えられる。</p> <p>徳島県内に本店を有するC等級の業者は40社あり、参加できる要件を有しているのは35社である。また、D等級の業者は82社有り、35社が要件を有しており、併せて70社に参加の資格があった。</p> <p>競争参加資格を有していれば施工能力は十分確保されているため、加算点が低くても問題はない。</p>

(2) 公募型競争入札(政府調達協定対象工事)	
意見・質問	回答
<p><b>平成25—26年度 朝倉トンネル工事</b></p> <p>判定評価結果表のA社の技術提案②の評価が0点になっているが、提案がなかったということか。</p> <p>1次審査によって11社を指名しているが、2次審査にどのような企業が参加するか、相互には分からないのか。</p> <p>入札価格状況一覧表によると、11社の内1番と11番は少し開きがあるが、あとの9社は調査基準価格に近い89%前後に入札率が集中しているが、こういうものなのか。</p> <p>この契約は、入札価格が拮抗しており、評価点も高いので、二段階選抜事後審査型がうまくいった事例か。</p> <p>1次審査の結果10社に絞り込んだが、もっと少なくても良いのではないのか。</p> <p>1次審査で順位が低くても、2次審査により逆転する可能性はあるのか。</p>	<p>特に加点評価するほどの提案ではなかったということである。</p> <p>1次審査による指名業者の公表は契約締結後に行っており、2次審査の時点では分からない。</p> <p>トンネル工事については、全国的に施工実績として活用できるので受注意欲が高いということと、規模が大きいので集中的に工事をするにより利益が上がるということで調査基準価格に近いところで応札があるのではないかと考えている。</p> <p>二段階選抜により受発注者双方の負担軽減が図れたと考えている。</p> <p>指名競争は10社程度指名することとされている。なお、御指摘があったこともあり、今後とも試行の状況を注視していきたい。</p> <p>他社と比べて、2次審査の技術提案が極めて優れており、あわせて入札価格も低い場合には逆転もあり得る。</p>
(3) 簡易公募型競争入札(建設コンサルタント業務等)	
意見・質問	回答
<p><b>平成25年度 徳島地区(192号)附属物点検業務</b></p> <p>参加可能業者34社のうち2社の参加だが、少ないか。</p> <p>このような状況の対応策は考えているのか。</p>	<p>道路の点検業務は、直轄以外に県・市町村も実施しているため発注が集中しており、企業の参加が厳しい状況である。</p> <p>発注の平準化をはかるための早期発注と発注ロットの拡大などで対応している。</p>

<p>徳島河川国道事務所が発注している附属物点検業務2件は落札率が高いが、予定価格の算定は簡単にできるのか。</p> <p>今回の業務以外にも、このような予定価格の決め方をしている業務はあるのか。</p>	<p>この業務は、標準歩掛が決まっていないため、指名した業者に見積を依頼し、回答のあった金額を参考に積算している。</p> <p>標準歩掛が決まっていないものは、同様である。</p>
<p>(4)簡易公募型プロポーザル(建設コンサルタント業務等)</p>	
<p>意見・質問</p>	<p>回答</p>
<p><b>平成25年度 怒田・八畝地区抑止工外測量設計業務</b></p> <p>1社だけで技術評価を行っているが、技術評価が相当低いとダメなことはあるのか。</p> <p>予定価格はどのように算出するのか。</p> <p>ある程度の参考価格があり、それを基に積算するのか。</p> <p>入札説明書において提示されている、業務量の目安3,000万円程度の根拠は。</p>	<p>プロポーザル方式は、欠格事項がなければ1社を特定することになる。</p> <p>特定した業者から、改めて参考見積を徴取し、見積の歩掛を参考に積算を行い、予定価格を決めている。</p> <p>入札説明書において、業務量の目安を提示しており、最終的には特定した業者に見積を提出してもらい、それを参考に積算をしている。</p> <p>過年度の、同様の業務を参考に決めている。</p>
<p>(5)一般競争入札(役務・物品)</p>	
<p>意見・質問</p>	<p>回答</p>
<p><b>平成25—29年度 サーバ賃貸借</b></p> <p>調査基準価格を大幅に下回っているが、問題はないのか。</p> <p>役務・物品で、入札率がこんなに低いことはあるのか。</p>	<p>当該価格で入札した理由、入札金額の内訳、契約の履行体制、当該契約期間中における他の契約請負状況、同様の受注実績、経営内容及び信用状況などについて調査を行った結果、問題ないと判断した。</p> <p>他地整における本システムの入札状況を見ても、相当程度の低入札が発生しており、本案件の入札率自体も低いものとなっている。</p>

2. 再度入札における一位不動状況(「価格が最低である業者が、当初入札時と同一となる案件」の発生状況)、低入札の発生状況について

意見・質問	回答
特になし	

3. 談合情報対応マニュアル等の改正について

意見・質問	回答
今回の改正により、信憑性が高まりわかりやすくなるが、作業量も増え大変になると思うので、よろしく願います。	

4. 事務所ごとの平均落札率等(一般土木工事C等級)について

意見・質問	回答
特になし	

5. 全体について及びまとめ

標準歩掛が設定されていない業務等の積算に際して行う見積徴取について、一層の適切性確保に努められたい。また、最近の労務費等の上昇傾向を踏まえ、市場の状況に応じた見直しを行い、入札が円滑に進むように対応していただきたい。
--